

2010年度 KSEA

関西教育行政学会
会報
第12号

〒606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科内
関西教育行政学会事務局
TEL & FAX: (075)753-3080
Mail: ksea@educ.kyoto-u.ac.jp

The Kansai Society for Educational Administration ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ksea/>

■□■ 2010年度第26回大会のご案内 ■□■

【日時】 平成22年12月12日(日) 午前10時から午後5時20分

【場所】 大阪大学 豊中キャンパス 大学教育実践センター
教育研究棟I・2階 セミナー室I
(詳細につきましては下記の地図をご参照ください。)

【大会参加要領】

1. 受付
9時30分から、教育研究棟I・2階 セミナー室I前にて行います。
2. 大会プログラム
大会プログラムは当日、受付にて配布いたします。
3. 昼食
会場近辺には食堂がございませんので、弁当をご持参ください。
4. 年会費
大会当日に、来年度(2011年度)の早期納入割引会費
(一般会員6,000円、学生会員3,500円)の受付を設置いたします。

※ 大会および忘年会の出欠について、同封の葉書またはメールにて、11月29日(月)必着でご返信下さいますようお願いいたします。会場設営の関係上、必ずご返信をお願い致します。

【会場案内】

「大阪大学豊中キャンパス」
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 Tel 06-6850-5605

大阪大学（豊中キャンパス）へのアクセス



※ 地図は大阪大学 HP
 (<http://www.osaka-u.ac.jp/ja>)
 より引用いたしました



- 阪急電車宝塚線
石橋駅（特急・急行停車）下車 東へ徒歩 約 15 分
- 大阪モノレール
柴原駅下車 徒歩 約 15 分

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9 時 30 分～【受付】		教育研究棟 I 2 階 セミナー室 I 前
10 時 00 分～【自由研究発表・研究推進委員会企画】		教育研究棟 I 2 階 セミナー室 I
	〈司会〉 榊原 禎宏 会員 (京都教育大学)	
	教育行政の基本原理の再検討ードイツ・アメリカの地方教育行政ー	
	報告 1 金子 勉 会員 (京都大学)	
	報告 2 湯藤 定宗 会員 (帝塚山学院大学)	
12 時 00 分～【昼食】	<u>会場近辺には食堂がございませんので、弁当をご持参ください。</u>	
12 時 00 分～12 時 30 分	〈紀要編集委員会〉	セミナー室 II
13 時 00 分～13 時 20 分	〈シンポジウム打ち合わせ〉	マッチング型 セミナー室
12 時 30 分～13 時 20 分	〈理事会〉	セミナー室 II
13 時 30 分～【大会シンポジウム】		教育研究棟 I 2 階 セミナー室 I
	「教育行政学教育を考える」	
	パネリスト： 浅田 昇平 会員 (びわこ学院大学)	
	兼井 宏和 会員 (京都大学大学院生)	
	吉岡 大 会員 (京都大学大学院生)	
	恩知 忠司 会員 (大阪府教育委員会)	
	小松 茂久 会員 (早稲田大学)	
	司会： 服部 憲児 会員 (大阪大学)	
	西川 信廣 会員 (京都産業大学)	
16 時 30 分～【2010 年度総会】		教育研究棟 I 2 階 セミナー室 I
18 時 00 分～【忘年会】		
	〈会費〉 一般会員 6,000 円 学生会員 4,000 円 (予定)	かさ家

【大会シンポジウム趣旨】

「教育行政学教育を考える」

近年、教育行政学の意義を問うシンポジウムが立て続けに行われている。日本教育行政学会では2007年と2009年に、本学会においては2008年に教育行政学研究の在り方について議論がなされている。これらのシンポジウムで取り上げられているのは、教育行政学「研究」の問題である。研究の在り方は最重要であるが、次代を担う人材の育成も考えておかなければならない。この領域の発展のためにも、教育行政学を学ぶ者の裾野を広げ、教育行政学の魅力を伝える必要がある。

政策レベルでは、教育行政学に限らず、大学・大学院における教育重視や育成の視点が強調されている。しかしながら、この点に関して大学を取り巻く状況は決して楽観的なものではない。一方では、緊縮財政と研究費の競争資金化により、若手研究者の育成手段の1つである科研費の獲得が困難になっている。他方では、一般に受け身・指示待ちの若者が増えていると言われ、大学生も決して例外ではないとされる。このような状況に対応した次世代育成方策を考える必要がある。

その際に、学習者やステークホルダーの視点を意識しておく必要がある。教育行政学の学習成果が活かされる主な進路としては、研究職と教育（行政）現場が考えられる。前者は学会の将来を直接担う者であるから当然である。後者に就く者については、教育行政学の学習者であるのみならず、学校や教育委員会が研究対象であるという意味においても、その教育行政学・教育行政学教育に対する認識を理解しておくことは不可欠である。

以上の問題意識から、また、これまで次世代育成や教育方法について正規の場でほとんど議論がなされていなかったことから、今回のシンポジウムでは、まずは、若手研究者の育成において何が障壁となっているのか、学生の教育における問題点は何か、教育（行政）現場から期待されることは何か、といった教育行政学教育の課題を明らかにし、会員間で共有することを目標としたい。それを踏まえて、教育行政学において何を教えるか、どう教えるか、いつまで教えるか（サポートするか）等について、議論したい。その際に、これまで教育行政学研究の最前線で活躍し、次世代を育成する立場にあるベテラン研究者、実際に困難の中で研究に腐心する若手研究者、さらには教育を受ける（学習する）学生・院生の立場、ステークホルダーとしての教育（行政）現場の視点をも考慮に入れ、会員間の忌憚ない意見交換の場としたい。

大会担当理事 服部 憲児

1. 教育行政学若手研究者が抱える課題

----- 浅田 昇平 会員（びわこ学院大学）

2. 学生の立場から見る「教育行政学」

----- 兼井 宏和 会員（京都大学大学院生）
吉岡 大 会員（京都大学大学院生）

3. 教育現場・教育行政の現場からの教育行政学への期待

----- 恩知 忠司 会員（大阪府教育委員会）

4. 教育行政学の魅力と後継者養成

----- 小松 茂久 会員（早稲田大学）

□■□ 事務局より □■□

【紀要第 38 号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第 38 号（2011 年 3 月発行予定）への「自由研究論文」および「研究ノート」の投稿申込受付は、会報第 11 号でお知らせしましたとおり、11 月末日までとなっております。「自由研究論文」への投稿資格は、2009 年 1 月例会から 2010 年 12 月例会（大会）において発表した会員です。「研究ノート」の掲載については、紀要編集委員会の合議によって決定します。該当する会員は、申込用紙に必要事項を明記の上、11 月末日事務局必着でお送りください。様式は、学会HPからのダウンロードも可能です。原稿の投稿締め切りは 2011 年 1 月 10 日です。ご不明な点などございましたら事務局までお問い合わせください。

【会費納入のお願い】

2010 年度学会費の納入をお願いいたします。一般会員は 7,000 円、学生会員は 3,500 円です。また来年度（2011 年度）学会費につきましても、大会受付時にお支払いいただけます。なお、3 月例会までの月例会出席時に直接お支払いいただくと、一般会員は 6,000 円となります。会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号： 01000-8-34227 加入者名： 関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名（カナ）	一〇九店（イチゼロキュウ店）
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 （受取人名）	カンサイキョウイクギヨウセイガツカイ （全て大文字）

忘年会のご案内

2010年度第26回大会に引き続き、以下の通り忘年会を開催いたします。同封の葉書またはメールにて出欠をお知らせくださいますようお願いいたします。

【日時】平成22年12月12日（日） 午後6時より

【会費】一般会員 6,000円、学生会員 4,000円（予定）

【会場】活魚・季節の一品料理 かさ家（大阪府池田市石橋 2-2-3）

忘年会会場



（上図は、Mapion (<http://www.mapion.co.jp/>) より引用しました。）

忘年会会場



（上図は、ぐるなび 活魚・季節の一品料理 かさ家 (<http://r.gnavi.co.jp/c071500/map/>) より引用しました。）